

Japan Patent Office
Utility Model Laying-Open Gazette

Utility Model Laying-Open No. 4-100975
Date of Laying-Open: September 1, 1992
International Class(es): B62J 6/02
B60Q 1/02
1/04

(6 pages in all)

Title of the Invention: Part Mounting Device for Two-Wheeled Vehicle
Utility Model Appln. No. 3-3976
Filing Date: February 5, 1991
Inventor(s): Yuzuru KAGAYAMA
Applicant(s): CATEYE CO., LTD.

(transliterated, therefore the
spelling might be incorrect)

[Abstract]

[Claim 1] A part mounting device for a two-wheeled vehicle, comprising:

- a first mounting part attached to a component of a two-wheeled vehicle;
- a second mounting part fixedly secured to a part for the two-wheeled vehicle, the second mounting part being provided for attachment to said first mounting part;
- a first fitting portion formed at one of said first and second mounting parts and having a rail-shaped protruding portion with at least one open end,

the protruding portion having a concave portion at a portion thereof; and

a second fitting portion formed at the other of said first and second mounting parts and having a groove with at least one open end and slidably fitted to said rail-shaped protruding portion, and a projection having a convex portion at its end to be engaged with the concave portion of said protruding portion in said groove and movable in a transverse direction of said groove; wherein

when said second mounting part is attached to said first mounting part by fitting of said first and second fitting portions, said projection moves in a state where said protruding portion is fitted to said groove, so that said concave portion and said convex portion are engaged with each other to prevent release of the fitting of said first and second fitting portions.

...omitted...

1

【実用新案登録請求の範囲】

【請求項1】 二輪車の構成部品に取付けられる第1の取付部品と、前記第1の取付部品に取付けるために設けられ、二輪車用部品に固定される第2の取付部品と、前記第1および第2の取付部品のいずれか一方に形成され、少なくともその一端が開放の一条のレール状の突起部を有し、前記突起部の一部には凹部が設けられる第1の嵌合部分と、前記第1および第2の取付部品のいずれか他方に形成され、前記レール状の突起部に摺動自在に嵌合する少なくともその一端が開放の一条の溝と、前記溝において前記突起部の凹部に係合する凸部がその先端に設けられ、かつ前記溝を横断する方向に移動自在である突出片とからなる第2の嵌合部分とを備え、前記第2の取付部品を前記第1の取付部品に前記第1の嵌合部分と前記第2の嵌合部分との嵌合によって取付けたとき、前記突起部が前記溝に嵌合した状態で前記突出片が移動して前記凹部と前記凸部とが係合し、前記第1の嵌合部分と前記第2の嵌合部分との嵌合が解除されるのを阻止する、二輪車用部品の取付装置。

【図面の簡単な説明】

【図1】 この考案の一実施例による取付部品Aと取付部品Bとの係合を解除したときの状態を示す斜視図である。

【図2】 この考案の一実施例によるヘッドランプを取付けた自転車の状態を示す側面図である。

【図3】 図2のヘッドランプをハンドルに取付けた状態の具体的構成を示す側面図である。

【図4】 図3のヘッドランプを正面から見た取付図である。

【図5】 図3のヘッドランプを後方から見た取付図である。

【図6】 図1の取付部品Bの平面図である。

【図7】 図6で示された取付部品Bの裏面図である。

【図8】 図6のV I I I - V I I I ラインの断面図である。

【図9】 図1の取付部品Bの平面図であって、ばねの付勢力に抗してストッパー19を移動させた状態を示した図である。

【図10】 図9の取付部品Bの裏面図である。

【図11】 図9のX I - X I ラインの断面図である。

【図12】 図1のX I I - X I I ラインの断面図である。

【図13】 図1のX I I I - X I I I ラインの断面図である。

2

【図14】 図1のストッパー19の構造を示す斜視図である。

【図15】 取付部品Aのレール部材と取付部品Bの溝との係合状態の変化を示した図である。

【図16】 図6の“X”の部分の拡大平面図である。

【図17】 図16のX V I I - X V I I ラインの断面図である。

【図18】 図16に対応した図であって、ストッパー19がばね21に抗して移動した状態を示した図である。

【図19】 この考案の他の実施例によるヘッドランプ29の取付状態を示した図である。

【図20】 図19のヘッドランプを後方から見た取付図である。

【図21】 図20の取付部品Bの上面を示す図である。

【図22】 図20の取付部品Bの上面を示す図であって、ばね21の付勢力に抗してストッパー19を移動させた図である。

【図23】 従来のヘッドランプ29の取付状態を示した側面図である。

【図24】 図23のヘッドランプを前方から見た取付図である。

【図25】 図23に示された取付部品Aと取付部品Bとの係合を解除した状態の斜視図である。

【図26】 図25の取付部品Aおよび取付部品Bの係合移動状態を示す断面図である。

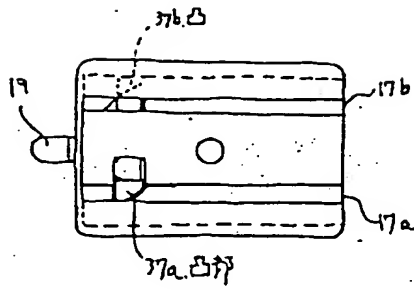
【図27】 図25の取付部品Aおよび取付部品Bの係合完了状態を示す断面図である。

【符号の説明】

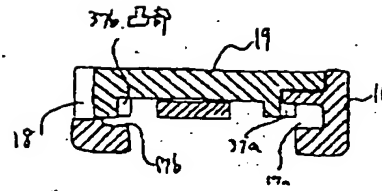
- 1 取付部品A
- 3 上部材
- 5 下部材
- 7 a、7 b レール部材
- 9 a、9 b 凹部
- 15 取付部品B
- 16 本体
- 17 a、17 b 溝
- 19 ストッパー
- 20 レバー
- 21 ばね
- 22 突起部
- 37 a、37 b 凸部
- 39 本体

なお、各図中同一符号は同一または相当部分を示す。

【図7】

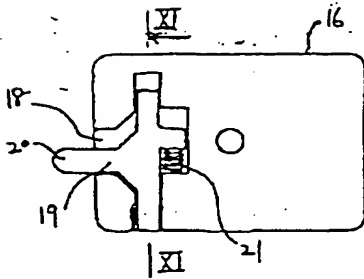


【図8】

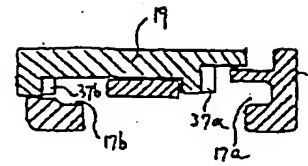
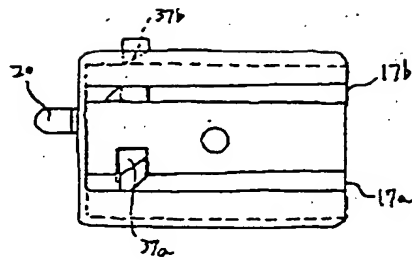


【図11】

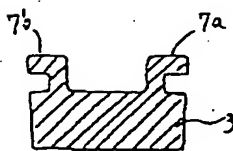
【図9】



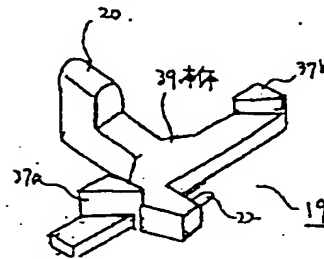
【図10】



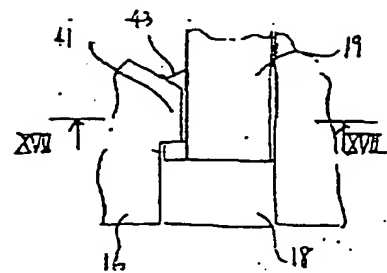
【図12】



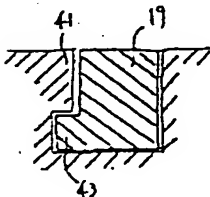
【図14】



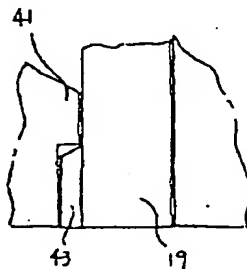
【図16】



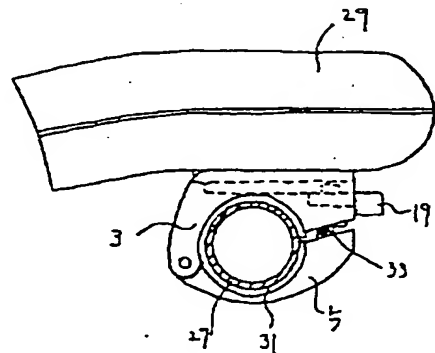
【図17】



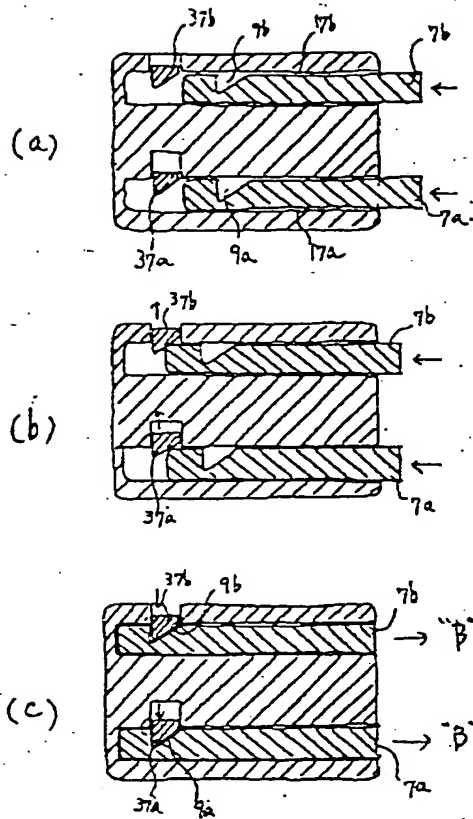
【図18】



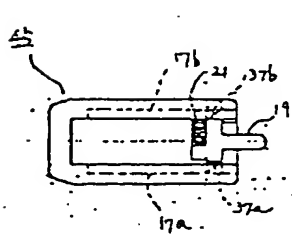
【図19】



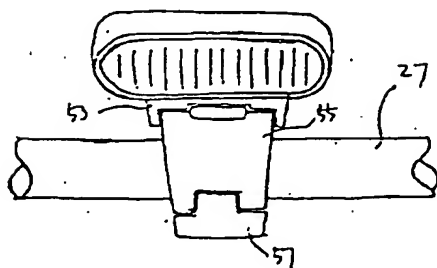
【図15】



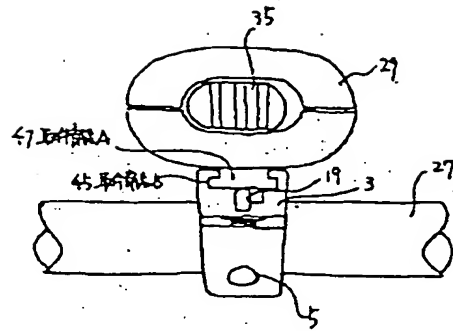
【図21】



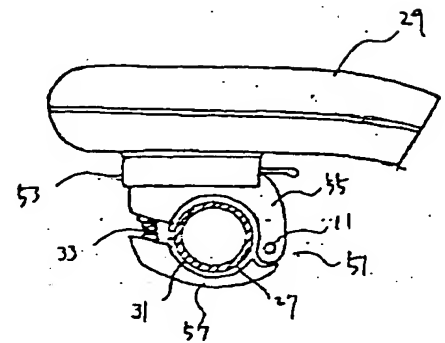
【図24】



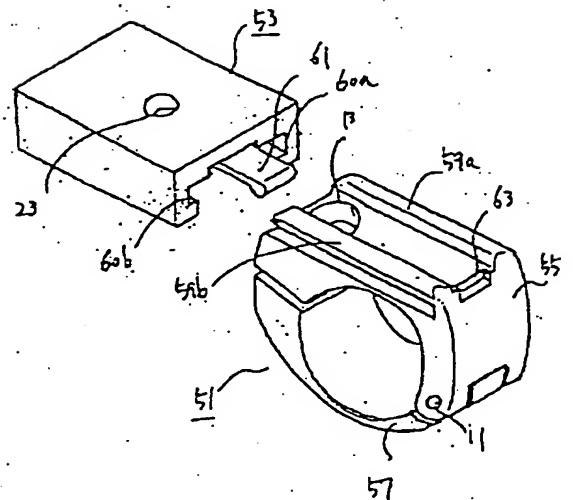
【図20】



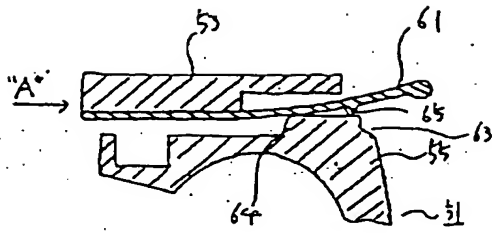
【図23】



【図25】



【図26】



【図27】

